



平成 22 年 12 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 ロック・フィールド
代表者名 代表取締役社長 岩田 弘三
(コード番号 2910 東証・大証 1 部)
問合せ先 執行役員 経理部部長 伊澤 修
(TEL 078-435-2800)

第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 22 年 6 月 8 日に公表した平成 23 年 4 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 5 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日）の業績予想と実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 23 年 4 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 (平成 22 年 5 月 1 日～平成 22 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,603	621	615	280	21.09
今回実績 (B)	22,797	895	915	467	35.18
増減額 (B-A)	194	274	300	187	—
増減率 (%)	0.8	+44.1	+48.6	+66.8	—

平成 22 年 4 月期まで連結財務諸表を作成していたため、平成 22 年 4 月期第 2 四半期累計期間の経営成績については記載しておりません。

2. 差異の理由

平成 23 年 4 月期第 2 四半期累計期間（以下、当第 2 四半期）につきましては、消費者の低価格志向が継続する中、「サラダカンパニー事業戦略」として主力ブランド「RF1」においてサラダ品群の強化に取り組んだほか、「いとはん・三日坊主」、「融合」ブランドにおいても新しいサラダの提案を積極的に行い、他社との差別化や新規顧客獲得に努めました。また、「食育の実践と提案」として行った「SHOKU-IKU 新聞」による販促活動や「お客様満足 100%の推進」の取り組みなどにより、売上高は前回の売上予想 22,603 百万円を 194 百万円上回る 22,797 百万円となりました。

平成 21 年 4 月期より行っている全社を挙げた業務改革、カイゼンによる生産性向上・業務効率化の取り組みによる経費コントロールの一層の推進と売上高の増加により当第 2 四半期累計期間においては、営業利益は前回予想を 274 百万円上回る 895 百万円（44.1%増）、経常利益は前回予想を 300 百万円上回る 915 百万円（48.6%増）、四半期純利益は前回予想を 187 百万円上回る 467 百万円（66.8%増）となりました。

3. 平成 23 年 4 月期通期業績予想（平成 22 年 5 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日）について

今後の景気の変化や業界を取り巻く環境は変化を続けており、引き続き厳しい経営環境は継続しております。当社においては最大の売上高を計画するクリスマスや年末年始を含む第 3 四半期における景気や天候の動向によっては大きく予想に差異を生じる可能性を包含しております。そのため、通期の業績予想については、現在のところ前回発表予想のとおりとさせていただきます。引き続き業務改革、カイゼンの取り組みによる生産性向上・業務効率化による経費コントロールに取り組み、利益確保に努めてまいります。今後、業績修正が必要となった場合には速やかに開示させていただきます。

（注）業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上